



高輪だより

令和2年度9月号
港区立高輪幼稚園
園長 柿沼 敦子

2学期が始まります

園長 柿沼 敦子

短い夏休みが終わりました。例年とは違うコロナ禍が収まらない中での夏休みでしたが、各ご家庭で工夫して親子で楽しい時間を過ごして下さったことでしょう。

1学期には、カエルやカナヘビ、トカゲが幼稚園の庭にやってきたので、しばらくの間、職員室の飼育ケースマンションをお貸ししていました。子どもたちは（お母さんたちも！）園庭遊びの際に、職員室前のテラスでその生態を間近で観察したり、餌を食べる様子を見たり、手の上に乗せたりして毎日親しんでいました。彼らは癒してあり、友達と同じ思いに共感、体感できる存在となり、幼稚園の仲間となりました。5歳児は、箱や容器を工夫してカナヘビのおうちづくりを楽しむ姿もありました。4歳児は、以前お知らせしたとおり、絵の具で伸び伸びとカエルを描きました。3歳児は、園生活にちょっぴり不安だった子が、これらの生き物との出会いで、園生活を楽しみだしました。3歳児は、彼らを取り争うこの時期の姿が微笑ましく、4歳児、5歳児になると譲り合ったり、教え合ったり、その生態と一緒に感動したりするなどの姿があり、成長の度合いを感じたこともありました。今まで、そのような生き物との出会いは少なかったのですが、今夏、子どもたちにとっては貴重な出会いとなり、各学年とも関わりを通して心が豊かになる体験ができました。カエルたちはいったん実家に戻しました。園内のどこかで静かに暮らしていることでしょう。

屋上ガーデンでは、ひまわり、イネ、スイカ、ポップコーン、サツマイモがお休みの間に太陽の光をたっぷり浴びました。ひまわりは大輪を咲かせ、スイカは毎日少しずつ大きくなり、サツマイモの葉が茂って土の中での実りを想像します。ポップコーンやイネは出穂しました。庭では毎朝、アサガオが鮮やかな色で花を咲かせています。これからの園生活の充実につながることを期待できます。

さて2学期は、どんな楽しいことが待っているのでしょうか。感染症対策を講じながら子どもたちが自分で働きかけて遊びを充実させていく環境を教職員一同整えていきます。お弁当も9月中旬から始めます。引き続き、感染症拡大予防のため、ご家庭のご理解とご協力をお願いいたします。



イネ



サツマイモ



ポップコーン



ヒマワリ



アサガオ